

よしみ

議会だより

2014
第135号
埼玉県
吉見町議会
2月1日発行
編集
議会だより編集委員会
比企郡吉見町下細谷411
TEL 0493(63)5024

12月定例議会

3月定例議会

3月4日(火)から開催される予定です。

- 議案審議結果
- 一般質問に8人登壇
- 視察研修報告

…P2～

…P4～

…P10～

12月定例議会

12月定例議会は、12月3日から6日までの4日間の会期で行われました。

今定例議会は、町長から提出された条例及び補正予算など15議案の審議が行われ、すべて可決されました。

一般質問については、8人の議員が登壇し、町政全般について活発な議論が展開されました。

議 案 審 議 結 果

議案番号	件 名	審議結果
議案第84号	東松山市、滑川町、嵐山町、小川町、川島町、吉見町、ときがわ町、東秩父村、小川地区衛生組合及び比企広域市町村圏組合における公平委員会の共同設置について	原案可決
議案第85号	比企広域公平委員会の共同設置に伴う関係条例の整理に関する条例	原案可決
議案第86号	吉見町地域の元気臨時交付金基金条例	原案可決
議案第87号	吉見町公設浄化槽事業特別会計条例	原案可決
議案第88号	吉見町公設浄化槽事業条例	原案可決
議案第89号	吉見町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第90号	吉見町介護保険条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第91号	請負変更契約の締結について	原案可決
議案第92号	平成25年度吉見町一般会計補正予算(第5号)	原案可決
議案第93号	平成25年度吉見町介護保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第94号	平成25年度吉見町下水道事業特別会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第95号	平成25年度吉見町農業集落排水事業特別会計補正予算(第5号)	原案可決
議案第96号	平成25年度吉見町水道事業会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第97号	平成25年度吉見町公設浄化槽事業特別会計予算	原案可決
議案第98号	吉見町固定資産評価審査委員会委員の選任同意について	同 意

人 事

固定資産評価審査委員会委員の 選任同意

固定資産評価審査委員会委員に
土田健壽氏を選任同意しました。

住 所:吉見町大字北吉見1613番地146
生年月日:昭和16年6月4日



■ 請願の提出

請願第2号

「容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律の制定を求める意見書」の採択を求める請願が提出され、総務建設常任委員会に付託されました。

国民健康保険税の負担が変わります

平成26年4月1日から

(改正前)	医療分	後期高齢者支援分	介護分
対象者	被保険者全員	被保険者全員	40歳以上65歳未満の被保険者
所得割	6.3%	1.5%	1.2%
資産割	40.0%	—	—
均等割	10,000円	8,600円	12,000円
平等割 (1世帯につき)	19,200円	—	—
限度額	51万円	14万円	12万円



(改正後)	医療分	後期高齢者支援分	介護分
対象者	被保険者全員	被保険者全員	40歳以上65歳未満の被保険者
所得割	6.3%	2.5%	2.5%
資産割	廃止	—	—
均等割	21,000円	12,500円	16,000円
平等割 (1世帯につき)	廃止	—	—
限度額	51万円	14万円	12万円

※太字の濃い所が変更内容

低所得者に配慮 軽減の拡充

前年の世帯の所得	軽減割合(改正前)	軽減割合(改正後)
前年の所得が33万円以下の世帯	均等割額及び世帯割額の6割を軽減	均等割の7割を軽減
前年中の所得が33万円+(24.5万円×世帯主を除く被保険者数)以下の世帯	均等割額及び世帯割額の4割を軽減	均等割の5割を軽減
前年中の所得が33万円+(35万円×被保険者数)以下の世帯		均等割の2割を軽減

モデルケースの試算

★所得とは 収入-必要経費=所得

例1 自営業等の場合

★ 所得 250万円 3人世帯
固定資産税額 74,000円

家族構成

40歳以上65歳未満の夫と40歳未満の妻
(世帯主のみ所得あり) 子ども1人



今まで	311,800円/年
26年4月から	363,100円/年
増額	51,300円/年

例2 国民年金等の場合

★ 所得 0円 2人世帯
固定資産税額 74,000円

家族構成

65歳以上の夫と65歳以上の妻



今まで	52,160円/年
26年4月から	20,400円/年
減額	31,760円/年

その他、試算額はケースにより異なりますので、詳しい事は税務会計課までお問い合わせください。TEL 0493-54-5029

町政に対する 一般質問



そこが聞きたい

こうしてほしい

一般質問とは？

「一般質問は、議員が町政全般について、自由なテーマで町長に質問・政策提言を行うもの」で、町民の声を町政に届けるものです。(持ち時間1人60分)

議会だよりでは、その内容を約700字以内で要約しお知らせしています。

小・中学校の建築物の現状と今後の対応

» 神田 隆 議員

問 校舎及び屋内運動場の窓ガラスの災害時の安全対策また、窓ガラスの遮熱・遮光の状況についてお聞きしたい。

答 校舎及び屋内運動場で使用されている窓ガラスについては、昇降口や屋内運動場の玄関等では、強化ガラスを使用し、各教室は一般的なガラスを使用しております。また、遮熱・遮光の方法につきましてはカーテンを使用しております。

問 校舎及び屋内運動場の防火シャッター設置状況及び危害防止装置の設置についてお聞きしたい。

答 小・中学校の屋内運動場への設置はございませんが、校舎には設置があり危害防止装置の設置は学校施設改修に合わせ対応してまいります。なお、吉見中学校の大規模改造の設計業務を進める中で、防火シャッターの改善を検討いたしております。

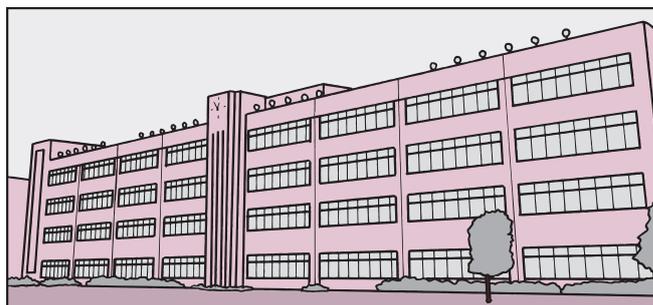
問 地震などの災害発生後の校舎及び屋内運動場の

検査体制や非構造物の点検、検査状況についてお聞きしたい。

答 学校施設の安全点検等につきましては、構造物・非構造物を区別することなく、随時教職員が目視や触診により点検を実施しております。施設設備に不具合が確認された場合は、教育総務課職員が状況確認し、解消に努めております。

問 各学校管理下での建築物や設備等で、アスベスト含有製品の使用状況についてお聞きしたい。

答 学校施設内での調査では、アスベスト含有製品は確認されておりません。今後、確認された場合は、速やかに対応してまいります。



全国学力テストの結果が公表されたが学校間格差は

» 小林 周三 議員

問 全国的に結果の発表について議論がなされております学力・学習状況調査について①全国学力テストの結果が公表されたが、推移は。②評価する点と課題は。

答 テストの結果の推移は調査が始まった当初はいずれの教科においても県平均を下回る傾向にあったが、近年では県平均とほぼ同程度か若干上回る状況になっている。評価する点は学力向上への取り組みの成果が徐々に表れてきたことと考える。課題は小学校間格差が顕在化してきたことです。

問 平成25年3月に吉見町地域防災計画を策定したが、その後に特別警報が運用開始された、その運用について。①地域住民への伝達は、いかなる手段で果たすのか。②周知義務は町にあるが運用基準は。③いままでの警報と特別警報とでは、危機管理が違うと思うが地域防災計画の位置付けは。

答 町の責務として、速やかで確実な方法として、防災行政無線を始め町内巡回啓発、緊急速報メール、消防団等あらゆる手段で町民に呼びかける。また、特別警報に関しては、町の地域防災計画に基づく、避難勧告等の判断・伝達マニュアルを改正し対応する。

問 小学校の教科担任制の導入について。一人の学級担任が全教科を教えるよりも、先生たちが複数の目で子どもたちを指導する、教師の専門性が発揮できる制度と考えますが、そのメリットとデメリットは。

答 メリットは一つの教科において、教師の専門性を生かしたより深い指導ができる。教材研究でも教師の負担が少ない。デメリットは授業時間を弾力的に運用できない、児童に関わる時間が制約される。



吉見町のオリンピックの取り組みは

» 尾崎 豊 議員

問 2020年、オリンピックの開催が決定しました。オリンピックは国民的行事であるが、吉見町でもひとつの転換期として取り組みが大切です。選手の育成、環境の整備等オリンピックに関する取り組みの計画は。

答 アジアでの夏季オリンピック開催は、2000年の北京以来12年ぶり4回目であり日本での開催は56年ぶりとなります。またアジアで同一都市の複数開催は初めてということであり、大変喜ばしいことです。今後の国の動向や自治体の取り組みなどについて情報収集していきます。

問 コミュニティ事業として新たな取り組みを。小菊を広め、新たな観光名所への取り組みを。

答 町では、コミュニティづくり推進協議会が中心になって多くのコミュニティ事業に取り組んでいます。小菊は町の花の一種であることから、普及にふさわしい花であると考えます。また、花を生かしたイベントや名

所は全国的に数多くあり、本町のコスモスまつりもそのひとつです。花の普及は、観光事業の好材料となり、コミュニティの醸成、犯罪の抑止、環境美化など、さまざまな効果がありますので、今後、先進事例など調査研究していきます。

その他

国の指定となっている百穴の運営状況について

- ①百穴の整備
- ②今年の百穴祭の状況
- ③季節に合わせたイベントの実施

等について質問致しました。



防災対策の拡充を

» 公明党 秋山 真美 議員

問 災害時の情報伝達で聴覚・視覚障害者への対応は。

答 災害時要援護者登録者は8人で、今後も登録の働きかけを行う。多くの手段を用い、速やかに情報伝達できる体制整備に努める。

問 防災行政無線難聴地域の対応は。

答 防災行政無線デジタル化への更新で、改善できる予定。電話応答、メール配信など複合的な整備も考えている。

問 聴覚障害者に光や振動で火事を知らせる、火災報知器の周知と普及は。

答 広報などで周知と普及を図る。(日常生活用具と



して購入可能)

問 災害時燃料確保に関する協定の締結の考えは。

答 ※ できれば、年度末までに締結したい。

問 軽度認知障害検査「あたまの健康チェック」の導入は。

答 先行導入している自治体など、調査していく。

問 ひきこもりの現状と支援は。

答 小・中学生のひきこもりはいない。他の年代の実態調査は行っていない。精神障害手帳を有する方を対象に月1回「[※]ソーシャルクラブ」を実施。児童相談所・保健所・精神保健総合センターなどに専門相談窓口が設置されている。

問 外出が困難な方に対する支援として、住民票等宅配サービスの導入は。

答 現在、町では郵送による請求や代理人による請求及び土日お渡しサービスを実施している。「宅配」については、実施市町の状況や必要性などを調査研究していく。

※軽度認知障害…記憶障害は進んでいるが、それ以外の脳の機能は保たれており、日常生活は何の問題もなく送れる状態。

※ソーシャルクラブ…精神障がいのある方が、グループでのレクリエーション活動などを通じて、社会復帰の足がかりとなること。

安心・安全・快適な生活

» 小宮 栄 議員

問 交通安全について。

北向地蔵のところの手押し信号機を感知式信号機にかえられないか。交差点が坂道で県道側がカーブで事故が多い。

答 東松山警察署に強く要望していく。

問 通学路について。

吉見ゴルフ場入口の所が冠水して子どもの通学に困っている。これは、ゴルフ場の駐車場の水を川に流させないためではないのか。当時の吉見領土地改良区が許可を出さなかったせいではないのか。駐車場に降った雨水をポンプで堤外に放出している。今時、こんな事があって良いのか。

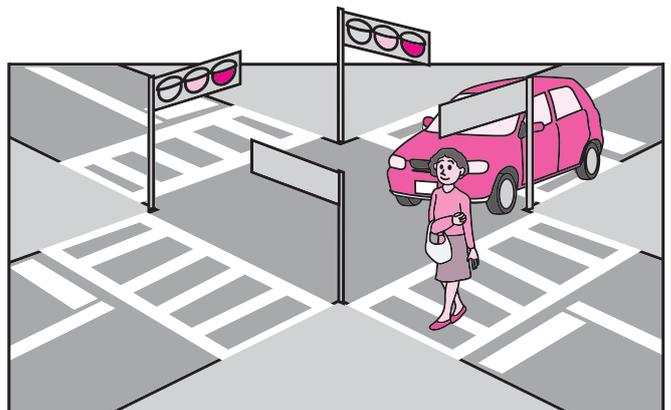
答 良く現地を調査して、冠水しないよう努めていきます。

問 中学校と給食センターの下水処理について。

下水道に接続できないか。川を綺麗にするよう町民も

努めている。東側の道路に北部中央農業集落排水の本管が通っている。公共施設が下水道を取り入れないのは良くない。

答 処理施設の能力を調査し接続に向けていきたい。



急げ教育環境整備

» 公明党 安孫子和子 議員

問 学校ICT化の見解は。

答 政府方針では、2013年度より「安全安心な環境のもと、児童生徒一人一台の情報端末による教育の本格展開の検討・推進」を実施することとし、2020年度を目標にしている。時代に応じた教育環境整備は必要である。

問 校内LAN整備を急ぐべきでは。

答 近い将来、整備が必要であると思う。



問 中学校は校舎の改修工事が予定されているが、トイレの洋式化もするべきでは。

答 可能な限り対応する。また、小学校については当面は設置していないところを優先に、フロアに最低1器設置していく。

問 各種健診受診率向上のため、電話でのコール・リコール(個別受診勧奨・再勧奨)制度の導入を。

答 無料クーポン対象の未受診者には、再度受診案内の通知を送付しており、申込みをして期間中に受けていない人には電話で受診を促している。

問 電話での勧奨は効果大きい。がん検診のみならず特定健診も勧奨の対象とし、連絡の取れない方の夜間、土日の対応も考えるべきでは。

答 夜間も勧奨を実施している自治体もあるので、調査研究し、きめ細かな受診勧奨に努める。

問 映画「じんじん」の上映を提案する。

答 総務省、全国市長会、全国町村会が後援しており、人の優しさや親子の絆を描いたハートフルな映画で、視聴者から好評を得ているので、実施した団体などから情報を収集していく。

他にも庁舎の自家発電装置設置について質問。

吉見町における入札制度の問題点

» 日本共産党 奥村 栄昭 議員

問 吉見町では入札時に予定金額の公表をしていないが、その理由について伺いたい。

答 予定価格の公表については、関係部署において制度変更によるメリット・デメリット等を中心に協議を重ねてきた。

メリットは入札不調が減少する等があげられ、デメリットは事前交渉によって積算能力が低下し適正な見積もりができない。事前に公表された額をもとに最低制限価格などが類推でき、低価格競争につながる恐れがある等があげられたので、今後も現行制度を維持しつつ、適正に執行していく。

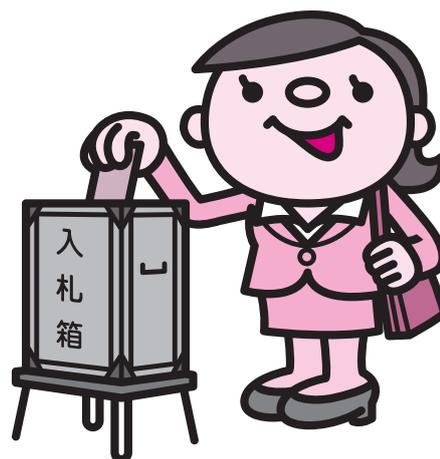
問 今後の公共工事について地元業者の育成に視点を置き、進めていく事が望ましいと考えるが、町の考えを伺いたい。

答 町内業者が登録している小規模契約希望者登録制度を活用して、平成24年度は180件を発注してい

る。5年前の平成19年には88件であったものが年々増加している。

問 今年度に入ってから議会の議決を要した工事の件数及び町内業者の割合は。

答 平成25年度11月末現在で町内業者が指名されている件数は、建設工事では67件中63件で94%、委託業務では14件中11件で78%となっており、町内業者の割合が極めて高い状態です。



新ごみ処理施設建設に向けての問題点

» 日本共産党 杉田しのぶ 議員

問 10月22日に東第二地区・川島芝沼地区の住民を対象に、新ごみ処理施設の住民説明会が行われたが、建設に前向きとは言えない意見や質問が続出していった。こうした現状は問題ではないのか。

答 説明会で出された意見・質問は、重々承知しており、真摯に耳を傾けていきたい。

問 東第二地区・川島芝沼地区の8割を超える住民の署名付き要望書が提出をされたため、住民説明会を行ったとのことだが、この地域の皆さんに確認したところ「署名のメインは温水プールと農産物直売所であり、この地域に新ごみ処理施設を造ってほしいということで署名したのではない」と共通して言われていた。付帯整備がメインの署名をもって、地域からの立地の要望として扱っていいのか。要望書は一旦保留し、再度地域の住民に確認をとるべきではないのか。

答 要望書の表題が「一般廃棄物処理熱回収施設の

建設について」となっているため、建設と合わせて温水プールと農産物直売所の要望が出されたと受けとめているが、改めて確認をしてみてもいいと思う。

問 ごみ処理施設の建設は、簡単に受け入れられない事例が全国にあちこちあるが、吉見の場合は単なる反対ではない。裁判での和解条項がある。町長である以上、現在も地域が二分されている現状や過去の経緯も十二分に理解をした上で、新ごみ処理施設建設に向けて進めていくことを約束してもらいたい。

答 過去に地元に変なご迷惑をおかけしたようなことが起こらないように、理解を求めながら進めて行かなくてはならないと考えている。

この他「使用水量に見合った水道基本料金の設定」についても質問をしました。



住民説明会の様子

一 部 事 務 組 合 報 告

比企広域市町村圏組合議会臨時会

» 伊与田 隆 議員

期日 平成25年10月28日 午前10時から

場所 東松山市議会議場

吉見町議会から、宮崎善雄議長と伊与田隆の2名が出席いたしました。議長の開議宣告の後、議席の指定が行われ、新しく選任された組合議会議員の自己紹介が行われました。会議録署名議員の指定がなされ、会期につきましては、10月28日、1日限りと決定いたしました。次に、副議長の選挙が行われ、指名推選により、小川町議会議長の小林一雄氏が副議長に選任されました。次に、諸般の報告後、管理者より提出議案の説明があり2議案が上程されました。

○議案第36号 監査委員の選任について

監査委員が欠員のため、新たに、嵐山町議会議員の青柳賢治氏を選任いたしたいとするものです。

○議案第37号 平成25年度比企広域市町村圏組合消防特別会計補正予算(第2号)について

議案につきましては、慎重審議の結果、可決されました。

埼玉中部環境保全組合議会定例会

» 荻野 勇 議員

期日 平成25年10月22日 午前9時から

場所 埼玉中部環境センター会議室

吉見町議会から神田隆議員、杉田しのぶ議員、内野正美議員、荻野勇の4名が出席いたしました。

平成25年4月から9月までの管内ごみ処理量は、可燃ごみ1万8765.69トン、粗大ごみ647.73トン、合計1万9413.42トンであり、昨年度と比較して可燃ごみ100.01トンの減、粗大ごみ0.82トンの増、合計では99.19トン、0.51%の減でありました。

灰の処理につきましては、合計2,298.48トンをセメント原料として処理委託をしております。

第2期大間処分場につきましては、フロートバイオシステムが順調に稼働しており、廃止基準のひとつでありますBODの数値は良好な結果となっております。

上程されました議案は2議案であります。

○議案第12号 専決処分の承認を求めることについて

管理者及び副管理者の給与の特例に関する条例を地方自治法第179条第1項の規定により、専決処分をしたので議会の承認を求めるものであります。

○議案第13号 平成24年度埼玉中部環境保全組合一般会計決算認定について

平成24年度歳入総額8億74万9573円、歳出総額7億6861万8076円、次年度繰越金は3213万1497円であります。

以上、上程されました2議案は、慎重審議のうえ、それぞれ原案のとおり承認、認定されました。

北本地区衛生組合定例会

» 奥村 栄昭 議員

期日 平成25年11月5日 午前9時から

場所 北本地区衛生組合議場

吉見町議会から尾崎豊議員、秋山真美議員、奥村栄昭の3名が出席いたしました。

吉見町の平成25年1月から9月までのし尿及び浄化槽汚泥の搬入量は4259.64キロリットルで前年より134.97リットル、3.27パーセントの増量です。

平成26年度の吉見町の負担金は平成25年度と比較すると267万3千円増額の5724万8千円と試算されました。

管理者提出議案は議案第12号北本地区衛生組合歳入歳出補正予算(第1号)の1議案で、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ3693万9千円を追加し、

歳入歳出予算の総額を3億4805万3千円とするもので原案のとおり可決されました。

また、管理者行政報告の中で組合施設周辺住民の健康への影響や汚泥等の埋め立て、再利用等についての安全を確保するため、敷地境界における大気中の放射線測定や汚泥等の放射性物質測定を定期的に行い、基準値と比較しても低い値が計測されている旨の報告がありました。

議会終了後に北本地区衛生組合議員の勤続5年の功労表彰が行われ、北本市議会選出の横山功議員及び久喜市議会選出の青木信男議員の2名が表彰されました。

期 日 平成25年11月11日(月)

視察場所 新潟県長岡市

目 的 長岡市のごみ処理における先進的な事例について(生ごみバイオガス発電事業)

長岡市では、可燃ごみである生ごみを発酵させエネルギーに換える発電施設「生ごみバイオガス発電センター」の視察研修を実施いたしました。

事業概要は生ごみを微生物で発酵・分解させて都市ガスと同じメタンガスを発生させます。これを発電に利用しています。また、発酵時にでる残さも民間のセメント工場に燃料として売却しているとのことでもあります。事業方式



はPFI事業(公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う新しい手法)で、1日最大65tの処理は自治体の生ごみを受け入れる施設としては最大規模とのことでもあります。平成25年7月1日から本格始動しております。

事業費総額約47億円で、設計・建設費で19億円、15年間の運営・維持管理費で28億円であり、事業効果といたしまして、燃やすごみの量が約4割減少しており、15年間で約35億円の経費とCO²が削減できるとのことでもあります。このバイオガス発電により年間約4800万円電気代が節約でき、年間発電量は410万kwhであり一般家庭の1,000世帯分に相当します。

施設の建設に対しまして、住民等の反対は特にありませんでしたが、臭いの関係だけは気をつけているそうです。また、週3回収集していた燃やすごみのうち、生ごみを2回、燃やすごみを1回に変更したことにより、収集経費はこれまでと変わらないとのことがありました。

期 日 平成25年11月12日(火)

視察場所 長野県北佐久郡御代田町

目 的 有限会社トップリバーの先進的な地域農業の発展事例について

トップリバーでは、地域野菜を開拓し、新規就農者の育成、直販体制や品質管理など、儲かる農業を実践している先進的・地域農業の事例を参考とするため研修を実施いたしました。

トップリバーは平成12年5月1日に設立され、資本金1千万円、事業内容は農産物の生産、販売、農業従事者の育成指導、農業生産法人の立ち上げ及び黒字化サポート事業であります。従業員数40名、生産品目はレタス、キャベツ、サニーレタス、白菜、グリーンリーフ、トウモロコシ、業務用ほうれん草であり、平成24年度の売上高は約10億円であります。

「農業は儲からない産業。補助金で農家を助けるしかない。」という常識を真っ向から否定して、「儲かる農業」をめざし、現実に収益を上げて注目を浴びている企業であります。農業というものは、決して簡単に儲かるものではありませんが、努力とやり方によって儲かるとのことです。今の農家は生き残るためにやっているだけであって、考えるべきことは、土地利用型農業を継いでくれる、

大規模型が出来る若者や人材を育てるとのことであるとのことです。

結びに、本委員会の視察にあたり、御多用の中にも関わらず、多くの資料と丁寧な御説明をいただいた長岡市環境部並びに、有限会社トップリバーの関係各位に心から感謝を申し上げ、総務建設常任委員会視察研修報告とさせていただきます。



期 日 平成25年11月11日(月)

視察場所 福島県石川郡石川町

目 的 石川町の「町立小・中学校統合計画」の概要と計画の進捗状況について

石川町は、昭和30年に6町村が合併し今日に至っています。当時人口は25,000人余りでしたが、平成25年9月1日現在の人口は16,884人、世帯数は5,471世帯になっています。学校の状況は、小学校は8校で児童778人、中学校は2校で生徒511人で合計児童生徒1,289人。一方、吉見町では小学校6校の児童889人、中学校の生徒603人で合計児童生徒1,492人です。



石川町では、昭和60年代から少子化傾向が強くなり、平成5年に策定された第3次総合計画で「教育効果の面から規模の適正化を検討する必要がある」と明記され、平成10年に策定された第2次行政改革大綱では「学区検討委員会を設置して学区の見直しを検討する」ことを決定。その頃から複数の小学校で複式学級が出現。学区の見直しだけでは小規模校化の問題は解消困難であり、小・中学校の統廃合と関連させながら検討することになりました。

現在では、平成27年に小学校を3校に、中学校を1校に統合する準備が進められています。

学校が長い歴史と伝統のなかで地域社会の中心的な役割を果たしてきた経緯を尊重しつつ、次代を担う子供たちの教育環境の整備を第一に考え、時間をかけて丁寧な説明を重ね地域住民の理解を得てきた様子を視察させていただきました。

吉見町においても少子化は進んでおり、広く長期的視点で考えていかなければならないと感じました。

期 日 平成25年11月12日(火)

視察場所 茨城県つくば市

目 的 つくば市の「健康マイレージ事業」の推進状況について

つくば市は、健康寿命を伸ばすには健康への動議づけが大切と平成22年度から20歳以上を対象に健康マイレージ事業に取り組んでいます。本事業は5つの目標、①健康診査を受診しよう②がん検診を1つ以上受診しよう③歯の検診を受けよう④健康に関する事業やイベントに1回以上参加しよう⑤個人の健康目標を立てて3か月以上取り組もうのうち3つ以上クリアすると応募でき、応募者全員に記念品が送られ、さらに抽選で豪華賞品が当たるといった楽しみながら事業に参加できる取り組みです。また、今年度はマイレージカードに4つのアンケートを載せたところ、応募者の約73%が新たに健康目標を設定して健康づくりに取り組み、家族や仲間に伝えたり、一緒に取り組むなどの広がりが見られたそうです。健康寿命の延伸を実現するには、生活習慣病の予防とともに社会生活を営むための機能をいつまでも維持することが必要です。そのためには、町民一人一人が健康の重要性を自覚し、健康的な生活習慣のあり方について理解し、主体的に取り組むことが基本です。町民の健康づくりを応援する新しい仕

組みとして、健康マイレージは目の前で実践できる活動に注目した事業で、大変有意義な研修でした。

結びに、本委員会の視察にあたり、ご多忙の中、詳細かつ多岐にわたる説明をいただきました石川町並びにつくば市の皆様に心から感謝を申し上げ、教育福祉常任委員会視察研修報告といたします。



議員研修会開催



平成25年12月6日(金)に講師の大塚康男氏を招き、「議会人の危機管理」と題して講演をいただきました。

議会改革をはじめ、議員とは議会とはどうあるべきか。

町民の為に何をやるか、何ができるか等について大変参考になり有意義な研修会でありました。

この研修を活かし取り組んでいきたいと思えます。



よしみ議会だよりをクリニック



平成25年11月26日(火)に、埼玉県町村議会議長会主催の議会だよりクリニックへ参加しました。広報・編集コンサルタントの吉野政明氏に全国で表彰を受けた議会だよりとの比較、見やすく伝わる紙面づくりについて研修して来ました。少しずつですが、皆様に親しまれる議会だよりをめざして頑張ります。

是非、ご意見・ご感想をお聞かせ下さい。



表紙の写真によせて

吉見観音の初詣に大勢の皆さんがお参りに来ていました。

今年もよい年になりますようお願いを込めて祈願していました。

編集後記

希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

年末には、日経平均株価は2007年11月以来、6年1カ月ぶりの高水準で取引を終えました。景気が回復しているとの見方も多いようですが、実感されていますでしょうか。4月には消費税が8%になることから、暮らしへの影響も心配されます。(宮崎)



議会だより編集委員会

委員長	尾崎	豊
副委員長	秋山	真美
委員	杉田	しのぶ
委員	荻野	勇
委員	宮崎	善雄